

会津坂下農業普及所だより

# みどりのこだま 第192号



## 祝 農林水産祭 天皇杯!!「JA会津よつば昭和かすみ草部会」



立川幸一部会長(左から3番目)と原喜代志JA代表理事組合長(右端)及び部会役員

第63回農林水産祭の園芸部門で「JA会津よつば昭和かすみ草部会」(以下、部会)が天皇杯の栄に輝き、令和6年11月23日、東京の「明治神宮会館」で開催された式典において、天皇杯と表彰状が授与されました。

天皇杯は、過去1年間の農林水産祭参加表彰行事(277件)において、農林水産大臣賞を受賞した463点の中から選定された最高位の賞です。

部会は、令和6年3月に第53回日本農業賞 集団組織の部で大賞を受賞した「産地一体となった新規就農者の確保により『百年産地』を目指す」活動が高く評価されました。

立川幸一部会長は「この受賞を契機に、先人から引き継がれた『昭和かすみ草』への情熱と想いに対する妥協なき姿勢を礎とし、百年先もカスミソウをつくり続ける産地であるため、新規就農者の確保・育成と飽きさせない魅力ある『昭和かすみ草』の探求を続けます。」と熱い決意を述べられました。

部会の皆様、この度は誠にありがとうございます。

当所では引き続き産地の発展のために尽力してまいります。

(主任主査 平野)

## 祝 福島県農業賞 受賞！「両沼農村青年クラブ」

令和6年9月2日、第65回福島県農業賞の表彰式が福島市で開催され、「両沼農村青年クラブ」が集団活動部門で農業賞を受賞されました。

「両沼農村青年クラブ」は、若手農業者で組織され、会員の資質向上や経営感覚を養うため、様々なプロジェクト活動の実施や各種研修会に積極的に参加しています。また、他地域の農業青年クラブとの交流も盛んに行っています。今年度はIoT機器「通り農業支援システム」を独自開発・実践し、地域の新規就農者や青年農業者の技術・経営の向上を支援しています。

これらの活動は、地域の農業発展に貢献し、他地域とのつながりを深める貴重な場となっています。今回の受賞を受け、会津坂下地域を牽引する担い手組織として、さらなる発展を御期待いたします。また、クラブはいつでもメンバーを募集しておりますので、興味のある方は当所まで御連絡ください。  
(技師 岡)



知事との記念撮影

## フレッシュ農業講座（視察研修）を開催！



農業講座の様子（左：肉牛肥育牛舎（喜多方市） 右：ソバほ場（会津坂下町））

令和6年9月12日、福島県立会津農林高等学校1学年の生徒58名を対象に、農業への理解を深めることを目的としたフレッシュ農業講座（視察研修）を開催しました。

講座後の生徒からは、「生産者の話を直接聞くことが出来て勉強になった。」「農業について自分でも情報を集めて発信していきたい。」「農作業は重労働だがやりがいはある。」など、様々な感想が挙げられました。

当所では、引き続き農業の魅力について情報発信を行い、新規就農者の確保に努めてまいります。  
(副主査 星野)

## 宿根カスミソウの品種比較現地検討会を開催！ 【会津平坦部で初めての取組】



現地検討会の様子

近年、会津平坦部における宿根カスミソウ栽培では、気象変動による高温の影響で、早期短茎開花による品質低下等が問題となっており、生産者は品種選定に苦慮している状況です。

そこで、JA会津よつば洋花部会の協力のもと、会津坂下町のほ場をお借りして、4社16品種を同一環境・同一管理下で栽培し、品種比較展示を実施しました。

令和6年10月23日に現地検討会を開催したところ、予想を上回る多数の参加者（50名）があり、品種ごとの開花時期や草丈、立茎数等の違いを観察しながら、自らの経営に適した品種を選定するため、熱心に議論を交わしていました。

当所では、今後も産地の課題解決に向けた取組を継続し、地域農業の発展に貢献してまいります。  
(技師 佐々木)

## 代かき同時直播実証試験を実施！



代かき同時直播の様子

湯川村において、昨年度から「グリーンな栽培体系への転換サポート事業」を活用して、水稻で環境に優しい技術と省力化技術を組み合わせた新しい栽培体系の実証を行っています。

環境に優しい技術では、肥料を有機栽培用の資材に転換することで、環境中への負荷の削減を狙いました。省力化技術では、ドローン直播で課題となっていた収量や品質を安定化させるため、自動運転による代かき同時直播について検証しました。

今年の結果については、1月に成果報告会で検討し、年度内には栽培マニュアルを作成する予定です。  
(主査 小林)

## あいづファーマーズ 「AIZU FARMRES」 設立!!

令和6年11月22日に、「会津の農業を元気にしたい」との熱い思いを持つ会津坂下町、会津若松市、西会津町、只見町の農業者8名で、会津地方をエリアとする「AIZU FARMERS」が設立され、初代会長に会津坂下町の小林和弘氏（指導農業者）が就任しました。

活動の第一歩として、設立当日に会津若松市の會津稽古堂において「持続可能な農業経営セミナー」が開催され、定員を超える50名の参加がありました。参加者は講演に熱心に耳を傾け、質疑応答の時間も熱い意見が交わされました。

今後の「AIZU FARMERS」の活動について、当所としても大きな期待を寄せており、活発な活動が展開されるよう支援してまいります。（技師 平）



あいさつをする小林会長

## 令和6年度両沼地域鳥獣被害対策担当者連携会議を開催!

鳥獣被害対策を強化するため、管内町村の担当者等を対象に連携会議を開催しました。

本年度はサル対策をテーマとして開催し、第1回は7月19日に三島町で、第2回は11月12日に西会津町で現地研修会を開催しました。

西会津町では、実際のサルを相手に花火を使った追い払いを行いました。講師からは、「集落で体制を整備し、複数人で林の中まで追いかけて、花火による追い払いを行うことが重要である。」との話がありました。

当所では、関係機関と連携し、地域に適した鳥獣被害対策を日々模索しています。農作物への被害でお困りの際は当所へ御相談ください。（技師 佐々木）



サルの追い払い（西会津町）

## 鳥獣被害対策モデル集落（会津美里町松岸集落）の取組

当所では、本年度から会津美里町松岸集落を鳥獣による農作物被害対策を地域ぐるみで行う「モデル集落」に位置づけ、町村や専門家と連携しながら鳥獣被害対策の実証を行っています。

今年度は、集落環境診断やアンケートにより被害状況を把握した上で、9月にイノシシやクマによる果樹や水稲への被害対策のため、集落の山際に恒久電気柵(※)を設置しました。12月に開催した実績検討会では、集落住民による活発な議論が交わされ、今後の対策への意識が高まっていることが感じられました。

当所では、次年度も引き続きモデル集落としての活動を支援し、恒久電気柵の効果等を検証してまいります。



恒久電気柵の設置

(※恒久電気柵：金属製の支柱とワイヤーからなり、設置後に支柱を撤去する必要がない電気柵)

(技師 佐々木)

### ◆内容に関するお問い合わせ、農業に関する相談はこちらへ

福島県会津農林事務所会津坂下農業普及所

(住所) 河沼郡会津坂下町大字見明字南原881 (電話) 0242-83-2112

金山普及所 (住所) 大沼郡金山町大字川口字上町656-1 (電話) 0241-54-2801